

記載例

第一号様式（第三条）

修学資金貸付申請書

年 月 日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

- 申請者及び連帯保証人の印影があること
- 連帯保証人の印影は、印鑑証明書で証明された印影（実印）であること

申請者氏名
連帯保証人氏名
連帯保証人氏名



修学資金の貸付けを受けたいので、千葉県医師修学資金貸付条例第5条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

- 電話番号が複数ある場合は、2段書きで記入すること

申請者	ふりがな氏名	氏名は楷書で丁寧に記入すること ふりがなの記入を忘れないこと		
	住所及び電話番号	郵便番号も記入すること		電話 ()
	生年月日	〇〇〇〇年 〇月 〇日 (年齢〇〇歳)	大学名	〇〇大学医学部医学科 第1学年
修学資金の種類		① 長期支援コース修学資金 ② ふるさと医師支援コース修学資金 ③ 産婦人科コース修学資金 (該当するものを○で囲んでください。)		
貸付申請金額		円		6年間の総額を記載すること
貸付申請期間		令和6年4月から令和12年3月まで (修学期間 令和6年4月から令和12年3月まで)		
振込口座番号 (本人名義のもの)		千葉銀行 県庁支店 預金種別 (普通)・当座 口座番号 1234567		
希望する診療科				

注 連帯保証人が法人である法定代理人の場合にあつては、様式中「連帯保証人氏名」とあるのは「連帯保証人名称及び代表者の氏名」と読み替えて記入すること。

- 現時点で希望する診療科を記入すること
(特に希望する診療科がない場合は、「未定」と記入)

メールアドレス

●●●@●●●

余白に連絡先アドレスを記入すること

記載例

第二号様式（第三条第一号）

誓 約 書

私は、修学資金の貸付けを受けるに当たり、千葉県医師修学資金貸付条例及び千葉県医師修学資金貸付条例施行規則の規定に従うことを誓約します。

年 月 日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

- ・申請者の氏名及び印影を忘れないこと
- ・印影は、「修学資金貸付申請書」（第一号様式）と同一の印影とすること



（申請者）
氏 名

㊞

私どもは、上記申請者の連帯保証人として、申請者に誓約どおり履行させるとともに、申請者の債務を連帯して負担します。

- ① 連帯保証人は、独立の生計を営み、修学資金の返還の支払いの責任を負うことができる資力を有する者として、2名必要。
- ② 独立の生計を営む場合とは、原則、別居していること。なお、配偶者は同一生計とみなし、別居している場合であっても不可。（つまり、配偶者同士で連帯保証人になることはできない）
- ③ 申請者が未成年（18歳未満）の場合、1名は法定代理人（親権者等）でなければならない。成年（18歳上）の場合は、これに限らない。
- ④ 連帯保証人の記入項目は、印鑑証明書の記載事項と一致するよう記入すること。
- ⑤ 印影は、印鑑証明書で証明されている印影（実印）とすること
- ⑥ 電話番号が複数ある場合は、それぞれ2段書きで記入すること

※疑問等があれば、事前に県の担当者に確認し、記入してください



（連帯保証人）

住 所

氏 名

㊞

職 業

生年月日 年 月 日生（ 歳）

申請者との関係

電話番号

（連帯保証人）

住 所

氏 名

㊞

職 業

生年月日 年 月 日生（ 歳）

申請者との関係

電話番号

注 連帯保証人が法人である法定代理人の場合にあつては、様式中「氏名」とあるのは「名称及び代表者の氏名」と読み替えて記入することとし、「職業」及び「生年 月日 年 月 日生（ 歳）」については記入しないこと。

記 載 例

同 意 書

私は、修学資金の貸付けを受けるに当たり、千葉県医師修学資金貸付条例及び千葉県医師修学資金貸付条例施行規則に従うこととし、キャリア形成卒前支援プラン及びキャリア形成プログラムについて、その内容を確認の上、適用に同意します。

年 月 日

千葉県知事 熊谷 俊人 様

- 申請者の氏名の記入を忘れないこと
- 押印は「不要」

(申請者)
氏 名

私は、上記申請者の連帯保証人として、申請者が千葉県医師修学資金貸付条例及び千葉県医師修学資金貸付条例施行規則に従うこと、また、キャリア形成卒前支援プラン及びキャリア形成プログラムについて、その内容を確認の上、申請者に適用されることに同意します。

- 連帯保証人の記入項目は、印鑑証明書の記載事項と一致するよう記入すること
- 連帯保証人の印影は、印鑑証明書で証明されている印影（実印）とすること
- 電話番号が複数ある場合は、それぞれ2段書きで記入すること

(連帯保証人)

住 所

氏 名

⑩

職 業

生年月日 年 月 日生 (歳)

申請者との関係

電話番号

- 注 1 申請者が未成年の場合は、連帯保証人は誓約書に記入されている連帯保証人のうち法定代理人（親権者等）を記入すること。
- 2 申請者が成年の場合は、連帯保証人は誓約書に記入されている連帯保証人のうち1名を記入すること。
- 3 連帯保証人が法人である法定代理人の場合にあっては、様式中「氏名」とあるのは「名称及び代表者の氏名」と読み替えて記入することとし、「職業」及び「生年月日 年 月 日生 (歳)」については記入しないこと。